

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
沼津情報・ビジネス 専門学校	昭和58年3月22日	鈴木 経康	〒410-0804 静岡県沼津市西条町17番地1 (電話) 055-961-2555				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 静岡理科大学	昭和27年3月31日	外山 浩介	〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333				
目的	企業の事務業務に求められるマナーやビジネスソフトの利用技術を習得し、さらに企業会計や生活設計・資産運用に必要な知識に関する公的資格を取得し、地元企業の事務職として求められる人材の育成を目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ビジネス科	平成22年文部科学省告示第153号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040	0	1890	150	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	46人	2人	11人	13人			
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～3月31日		成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 学期末に試験を行い、平素の成績と合わせて、60点以上を合格とする。			
長期休み	学年始め: 4月1日～4月10日 夏季: 8月1日～8月31日 冬季: 12月20日～1月10日 学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件	・必須科目及び選択必修科目において不可がないこと。 ・出席率が85%以上であること。 ・学納金が未納でないこと。			
生徒指導	クラス担任制: 有 長期欠席者への指導等の対応 ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導		課外活動	課外活動の種類 校外清掃活動、ハイキング、研修旅行、学園祭、サークル活動 サークル活動: 有			
就職等の状況	日本郵便株式会社、税理士法人トップ、イワサキ経営グループ、株式会社シー・アイ・シー、バリュー・トーカイ株式会社、株式会社イー・エル・シー、株式会社ヒノデ、株式会社エイジェック、有限会社ワイ・エス、東海エレベーター株式会社、株式会社ウェルビーイング 他 就職率^{※1} : 100 % 卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 92.3 % その他 海外留学1名 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	ファイナンシャルプランニング検定3級・2級 日商簿記検定3級 秘書検定3級・2級 MOS(Word,Excel,PowerPoint,Access) リテールマーケティング検定3級 コンピュータ会計能力検定 硬質書写検定			
中途退学の現状	中途退学者 2名 平成28年4月1日時点において 在学者 35名 平成29年3月31日時点において 在学者 33名 中途退学の主な理由 進路変更のため		中退率 5.7 % (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)				
中退防止のための取組 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。							
ホームページ	URL: http://www.numasen.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

地元の多様な企業の事務職業業務に対応できる人材を育成することを想定して教育課程を編成している。教育課程編成委員会の企業関係者等の意見を踏まえ、授業科目や内容及び時間数を見直し、教育課程を改善している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業等のニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係る規則」として、またその運営は「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
杉山 金芳	沼津商工会議所 常務理事兼事務局長	平成30年1月31日	①
飯田 夏子	有限会社 グロー 代表取締役	平成30年1月31日	③
池野 晴加	沼津情報・ビジネス専門学校 ビジネス科 教員	平成30年1月31日	
瀧田 強	沼津情報・ビジネス専門学校 教務課長	平成30年1月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 (平成28年度:3月20日、8月25日 平成29年度:3月23日 8月下旬)

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年3月20日 13:15～15:00

平成28年度 第2回 平成28年8月25日 10:00～11:00

平成29年度 第1回 平成29年3月23日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

沼津市内のホテルにおいて実習を行っているが、昨年度は7月に行ったこともあり、洗い場での研修が多かった。その件につき、委員より、実習を行う時期を変更するよう意見をいただき、今年度は10月から12月にかけて行ったことで結婚式シーズンと重なり、披露宴会場での仕事が多く、直接お客様と対応することができた。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

連携指導・評価していただく企業は、地元企業の新人教育や中堅社員研修を行い、マナーや立ち居振る舞い及びプレゼンテーション等の指導を行っている。演習内容について、初歩的な指導から実践的な指導まで、本校の担当教員の要望に対応していただける企業を選定した。また、男女共通の内容と個別の内容いずれにも対応できることも考慮した。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業の教科担当者与本站教員とで、実習前に実習スケジュールや実習内容の打ち合わせを行い、講義・演習で基本的なコミュニケーション技術・マナー等を学習した後、沼津市内のホテルで実習し、その場で総合的な実習形式を取っている。実習終了後は、教科担当者からの「実習評価表」と学生が事後に作成する報告書・学生の報告会での発表内容を基に、教科担当者と本校教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
トータルイメージアップ	自分の隠れた能力や表現力を引き出し、美しい姿勢や、さりげない仕草、また言葉の表現で相手に上手く対応できるコミュニケーション技術や表現方法を学ぶ。	有限会社 グロー

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「沼津情報・ビジネス専門学校 職員研修規程」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図るため「教職員研修」を、企業等及び研修機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名:FP継続教育セミナー
主催:日本フィナンシャル・プランナーズ協会
期間:平成27年10月3日・4日 対象:教員1名
概要:「金融経済教育の現状とFPが果たすべき役割」「日本財政破綻のシナリオ」「日銀の異次元緩和とマーケット動向」「FPとして起業し、また活躍するための勘所」等ファイナンシャルプランナーとして必要となる知識等を学んだ。

・研修名:FP継続教育セミナー
主催:日本フィナンシャル・プランナーズ協会
期間:平成28年10月8日・9日 対象:教員1名
概要:「不動産監査留テイングの実務」「子育て世代のライフプランニング」「生命保険の最新傾向」「年金定期便を活用した保険の見直し方」等ファイナンシャルプランナーとして必要となる知識等を学んだ。

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名:授業の現場で使えるアクティブラーニングの実践
主催:日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会 井野 利佳子
期間:平成27年8月18日 対象:教員1名
概要:授業や学生指導に役立てるため、アクティブラーニングの取り入れ方及びティーチング・コーチング・ラーニングの基本的な考え方から、ファシリテータの役割等を学んだ。

・研修名:職場や教室で活かせるコミュニケーションスキルの質の向上
主催:MQ総研 寺尾 寿樹
期間:平成28年8月17日 対象:教員2名
概要:よりよい学生指導・学生対応に役立てるため、教員自身の行動特性を把握し、「褒める能力」向上に向けた実際の日常に則したトレーニングを行い、コミュニケーションスキルの質的向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名:FP継続教育セミナー
主催:日本フィナンシャル・プランナーズ協会
期間:平成29年10月28日・29日 対象:教員1名
概要:FPとして押さえておきたい「顧問契約を確実に取れる話し方」、老後も安心！主婦も公務員も加入できる確定拠出年金、FPとして知っておきたい「外貨建て保険の必要性と役割」

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名:発達障害学生への理解と指導方法、専門学校の高等教育機関としての位置づけ
主催:静岡県発達障害支援センター、ベネッセ教育総合研究所
期間:平成29年8月24日 対象:教員2名
概要:多様化する学生指導・学生対応に役立てるため、発達障害の理解を図るとともに、適切な指導スキルの向上を図る。また、専門学校の高等教育機関としての位置づけ・役割を再確認し、今後の教育方法を研究していく。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2)学校運営	基準(7) 学校運営
(3)教育活動	基準(2) 教育活動
(4)学修成果	基準(3) 教育成果
(5)学生支援	基準(4) 学生支援
(6)教育環境	基準(5) 教育環境
(7)学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受入れ
(8)財務	基準(7) 財務
(9)法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献
(11)国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より①学校・学科の理念・目標の一層の公開、②シラバスの学生に向けた公開、③卒業生との関係の強化、④学生の活躍を含めた地域連携の充実などの意見が得られた。

対策として①ホームページでの学校理念、目標等の公開、②学内ネットワークでのシラバスの公開、③同窓会を軸とした卒業生とのネットワークづくり、④地域連携活動への学生の積極参加を今年度の目標に入れ準備・実施している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 早苗	公益社団法人沼津法人会 女性部会 沼津支部長	平成30年3月31日	地方団体関係者
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
宇賀神 美代子	医療法人社団 真養会 田沢医院 事務長	平成30年3月31日	企業等委員
野田 真人	社会福祉法人信愛会 認定こども園あゆのさと 副園長	平成30年3月31日	企業等委員
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
伊藤 博	株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル 副総支配人	平成30年3月31日	企業等委員
加藤 正樹	静岡県立富士宮北高等学校 教諭	平成30年3月31日	地域住民
土井 宣博	株式会社 雅心苑 代表取締役 社長	平成30年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

公表年月日：平成29年6月30日

URL: <http://www.numasen.ac.jp>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営について理解を求めするため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業生数、主な就職先
(3)教職員	教職員数、組織、研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8)学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11)その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

公表年月日：平成29年6月30日

URL: <http://www.numasen.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程ビジネス科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			フレッシュマンセミナー	思いやりのある誠実な心（挨拶、時間、掃除）をコンセプトに、アクティビティーや実践的な内容を多く取り入れ、挨拶等の基本作法の習慣付けをする。	1前	30	1	○			○	○			
○			就活ゼミⅠ	就職活動を始めるに当たり、業界研究や企業研究等の手順を学ぶとともに、自己分析などを行う。	1後	30	1	○			○	○			
○			就活ゼミⅡ	履歴書の書き方やエントリーシートの書き方・面接の受け方など自分をアピールするために必要なスキルを高める。	2前	30	1	○			○	○			
○			キャリアディベロップメントⅠ	コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、基本的な考え方とスキルを身につける。	1後	30	1	○			○	○			
○			キャリアディベロップメントⅡ	社会や組織で必要とされるコミュニケーションスキルについて、より実践的に理解を深める。	2前	30	1	○			○	○			
○			教養ゼミⅠ	各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	1前	30	1	○			○		○		
○			教養ゼミⅡ	目指す職業・業界に必要とされる一般的知識を含めた教養を高めるための学習を行う。	1後	30	1	○			○		○		
○			教養ゼミⅢ	各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	2前	30	1	○			○		○		
○			教養ゼミⅣ	一般常識や社会的な話題に対する自分の考えや意見を、他者に伝達できるようにすることを目的にディスカッションやロールプレイング形式で学習を行う。	2後	30	1	○			○		○		
○			コミュニケーション活動Ⅰ	対人関係の円滑化を図る能力を身につけることを目的とし、各種の特別活動を行なう。	1通	30	1	○			○		○		
○			コミュニケーション活動Ⅱ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	2通	90	1	○			○		○		

○		ストア・オペレーションⅠ	ストアオペレーションとは、商品の仕入や陳列、人員配置などお店：店舗の運営のことをいう。利益を上げるためには、売ることをだけを考えるのではなく店舗運営の仕組みを考える必要がある。講義・実習を通して店舗運営の仕組みの基礎を理解する。	1後	30	1		○	○	○								
○		ストア・オペレーションⅡ	1年次に引き続き講義・実習を通して店舗運営の仕組みを学習する。販売士検定3級の合格を目標とする。	2前	90	3		○	○									
○		トータルイメージアップ	自分の隠れた能力や表現力を引き出し、美しい姿勢や、さりげない仕草、また言葉の表現で相手に上手く対応できるコミュニケーション技術や表現方法を学ぶ。	1後	30	1			○	○	○							
○		パソコン利用技術	初めてパソコンを使う場合に知っておく必要のある入門の知識や技術を実習を通して学習する。	1前	30	1		○	○	○								
○		ビジネスソフトⅠ	Office2013の応用的技術を身につける（主にWord、Excel）。MOS（Microsoft Office Specialist）Word、Excelの合格を目標とする。	1通	150	3		○	○									
○		ビジネスソフトⅡ	Office2013の応用的技術を身につける（主にPowerPoint、Access）。MOS（Microsoft Office Specialist）PowerPoint、Accessの合格を目標とする。	2通	120	2		○	○									
○		プレゼンテーション技法Ⅰ	新規事業や事業改善を行う上で必要な物事の発想法、情報の整理、分析法などを学び、自分の考えをプレゼンテーション用ソフトを利用し、聞き手にわかりやすく、興味を持って聞いてもらうための技術を実習を通して習得する。	1後	30	1		○	○									
○		プレゼンテーション技法Ⅱ	新規事業や事業改善を行う上で必要な物事の発想法、情報の整理、分析法などを学び、自分の考えをプレゼンテーション用ソフトを利用し、聞き手にわかりやすく、興味を持って聞いてもらうための技術を実習を通して習得する。	2後	30	1		○	○									
○		インターンシップ	職業生活に求められる能力の自覚、社会人として必要な態度・マナー・コミュニケーション能力の習得等、現実の職業社会に身を置くことから得られる気付きや学びを、キャリアデザインの手掛かりにすることを目的として企業実習を行う。	1後	30	1			○	○	○							
○		卒業研究	グループごとの、研究テーマにより、学生自身が自主的に2年間の学習成果をまとめるための総合的な研究を行う。各グループごとに研究テーマを設定し、作品を制作するとともに卒業論文にその成果をまとめる。また、学年末には制作した作品を「卒業研究発表会」にて発表する。	2後	90	3			○	○								

○	ファイナンシャル・プランニングⅡ	高齢化社会の到来と個人資産の増大などで、社会保障・生命保険や損害保険・金融商品・税金・不動産・相続などに関する知識が必要とされている。本講義では、厚生労働省認定のFP技能検定2級の範囲を学習する。	2通	120	4	○	○	○	○
○	サービス接遇	サービス業務に対する心構え、対人心理の理解、対応の技術、口の利き方、態度・振る舞いなどを理論と実践を通して身に付けて行く。	2通	120	4	○	○	○	○
合計			34 科目	2160 単位時間 (65 単位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
【卒業要件】 (1) 全科目の成績評価において不可の評価（評価点60点未満）がないこと (2) 年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上でかつ年間出席時限数が425時間以上であること (3) 学納金に未納がないこと 【履修方法】 選択必修科目は、120時間・4単位を履修し修得する	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
沼津情報・ビジネス 専門学校	昭和58年3月22日	鈴木 経康	〒410-0804 静岡県沼津市西条町17番地1 (電話) 055-961-2555				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 静岡理工科大学	昭和27年3月31日	外山 浩介	〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333				
目的	社会の高度情報化に対応できるIT技術者へのニーズに応えるため、情報全般に幅広い知識を持ち、業務系や制御系、Web系などのシステム開発能力を持った技術者を育成し、情報処理業界へ就職させることを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程(工業)	コンピュータ科	平成22年文部科学省告示第153号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040	1050	1350	0	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	90人	2人	11人	13人			
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～3月31日		成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 学期末と学年末に試験を行い、平素の成績と合わせて、60点以上を合格とする。			
長期休み	学年始め: 4月1日～4月10日 夏季: 8月1日～8月31日 冬季: 12月20日～1月10日 学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件	・必須科目及び選択必修科目において不可がないこと。 ・出席率が85%以上であること。 ・学納金が未納でないこと。			
生徒指導	クラス担任制: 有 長期欠席者への指導等の対応 ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導		課外活動	課外活動の種類 校外清掃活動、企業見学、ハイキング、研修旅行、学園祭、ETロボコン参加 サークル活動: 有			
就職等の状況	主な就職先、業界等 テックインフォメーションシステム(株)、東京システムズ(株)、(株)メトロ、富士通エフ・アイ・ピーDC(株)など 就職率^{※1}: 100% 卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 97.3% その他 大学進学者1名 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	・ITパスポート試験 ・基本情報技術者試験 ・応用情報技術者試験 ・C言語能力認定試験 ・Microsoft Office Specialist ・CompTIA IT Fundamentals			
中途退学の現状	中途退学者 1名 平成28年4月1日時点において 在学者 74名 平成29年3月31日時点において 在学者 73名 中途退学の主な理由 1名:進路変更のため。		中退率 1.4% (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)	中退防止のための取組 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。			
ホームページ	URL: http://www.numasen.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界の評価を得ている基本情報技術者試験の取得に必要な教育時間を基本とし、システム開発業界において必要な技術や知識の企業ニーズを取り入れて、教育課程を編成している。教育課程編成委員会の企業関係者等の意見を踏まえ、授業科目や内容及び時間数を見直し、教育課程を改善している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業等のニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係る規則」として、またその運営は「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
長谷川 智之	静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事	平成30年1月31日	①
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	平成30年1月31日	③
上杉 徳彦	沼津情報・ビジネス専門学校 教務課長代理	平成30年1月31日	
石野 真明	沼津情報・ビジネス専門学校 コンピュータ科 教員	平成30年1月31日	
伊藤 清香	沼津情報・ビジネス専門学校 コンピュータ科 教員	平成30年1月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回(平成28年度:3月22日、8月30日 平成29年度:3月14日、8月上旬)

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年3月22日 15:00～17:00

平成28年度 第2回 平成28年8月30日 14:00～15:20

平成29年度 第1回 平成29年3月14日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

企業側委員より、C言語の基礎となるアルゴリズムを強化するよう意見が出され、これまで別々であった「アルゴリズム」と「C言語」を担当する教員を同一人が担当にすることにより、アルゴリズムで行ったロジックをC言語でプログラミングする手法を採用するとともに、両科目で毎回小テストを実施し、進捗による理解度を確認した。

また、企業側委員からのコラボレーションに関する提案があり、企業側委員が公募で行っている夏季休暇中のインターンシップの紹介を頂き、これまで実施できていなかった1年生へのインターンシップが希望者について実施した。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業の開発事例を教材としてシステム開発演習を行うために、教材提供は企業担当者と当校教員とで共同で開発できる企業を選定している。また、演習の結果を踏まえて再度検討会を実施し、教材の改善・授業時間数・内容の修正を随時実施等の連携も可能である企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

システム開発演習用の演習教材の開発およびシラバス・教案を企業の担当者と連携し開発作成する。この教材・教案にて企業の担当者による演習を進め、演習期間終了時には当校教員と協議し、教材のメンテナンスや教授方法、演習時間配分などの見直しをする。全授業終了時には、企業担当者による生徒の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
システム開発総合演習	システム開発事例の教材(スイミングスクール会員管理システム)を使い、システム開発の各フェーズ(要件定義、外部設計、内部設計、プログラム設計、開発、テスト)を演習形式で実際に開発していく。	ランアンドケントス株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「沼津情報・ビジネス専門学校 職員研修規程」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図るため「教職員研修」を、企業等及び研修機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名:CompTIA Academic Summit2016

主催:CompTIA日本支局/株式会社ウチダ人材開発センタ

期間:平成28年8月22、23日 対象:教員1名

概要:ITマーケットの現状と状況、ビジネスで求められるコミュニケーションスキルと育成法。CompTIA Security+トレーナー研修。

・研修名:Androidアプリケーション開発入門

主催:カサレアル株式会社

期間:平成28年8月23、24日 対象:教員1名

概要:スマートフォンのアプリケーションの技術を習得するための一貫として、複数のUIコンポーネントを利用した基本的なAndroidアプリの開発技術研修。

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名:職場や教室で活かせるコミュニケーションスキルの質の向上

主催:MQ総研 寺尾 寿樹

期間:平成28年8月17日 対象:教員2名

概要:よりよい学生指導・学生対応に役立てるため、教員自身の行動特性を把握し、「褒める能力」向上に向けた実際の日常に則したトレーニングを行い、コミュニケーションスキルの質的向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名:CompTIA Academic Summit2017

主催:CompTIA日本支局/株式会社ウチダ人材開発センタ

期間:平成29年8月9、10日 対象:教員3名

概要:情報セキュリティの基礎についての講座を実施せれる教員向け講座。

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名:発達障害学生への理解と指導方法、専門学校の高等教育機関としての位置づけ

主催:静岡県発達障害支援センター、ベネッセ教育総合研究所

期間:平成29年8月24日 対象:教員2名

概要:多様化する学生指導・学生対応に役立てるため、発達障害の理解を図るとともに、適切な指導スキルの向上を図る。また、専門学校の高等教育機関としての位置づけ・役割を再確認し、今後の教育方法を研究していく。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受入れ
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より①学校・学科の理念・目標の一層の公開、②シラバスの学生に向けた公開、③卒業生との関係の強化、④学生の活躍を含めた地域連携の充実などの意見が得られた。対策として①ホームページでの学校理念、目標等の公開、②学内ネットワークでのシラバスの公開、③同窓会を軸とした卒業生とのネットワークづくり、④地域連携活動への学生の積極参加を今年度の目標に入れ準備・実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 早苗	公益社団法人沼津法人会 女性部会 沼津支部長	平成30年3月31日	地方団体関係者
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
宇賀神 美代子	医療法人社団 真養会 田沢医院 事務長	平成30年3月31日	企業等委員
野田 真人	社会福祉法人信愛会 認定こども園あゆのさと 副園長	平成30年3月31日	企業等委員
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
伊藤 博	株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル 副総支配人	平成30年3月31日	企業等委員
加藤 正樹	静岡県立富士宮北高等学校 教諭	平成30年3月31日	地域住民
土井 宣博	株式会社 雅心苑 代表取締役 社長	平成30年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
 公表年月日 : 平成29年6月30日
 URL: <http://www.numasen.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営について理解を求めため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())
 公表年月日 : 平成29年6月30日
 URL: <http://www.numasen.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程コンピュータ科) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			フレッシュマンセミナー	思いやりのある誠実な心（挨拶、時間、掃除）をコンセプトに、アクティビティーや実践的な内容を多く取り入れ、挨拶等の基本作法の習慣付けをする。	1前	30	1	○			○					
○			キャリアディベロップメントⅠ	コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、基本的な考え方とスキルを身につける。	1後	30	1	○			○					
○			キャリアディベロップメントⅡ	社会や組織で必要とされるコミュニケーションスキルについて、より実践的に理解を深める。	2前	30	1	○			○					
○			就職活動ゼミⅠ	就職活動を始めるに当たり、業界研究や企業研究等の手順を学ぶとともに、自己分析などを行う。	1後	30	1	○			○					
○			就職活動ゼミⅡ	履歴書の書き方やエントリーシートの書き方・面接の受け方など自分をアピールするために必要なスキルを高める。	2前	30	1	○			○					
○			教養ゼミⅠ	各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	1前	30	1	○			○					
○			教養ゼミⅡ	目指す職業・業界に必要とされる一般的知識を含めた教養を高めるための学習を行う。	1後	30	1	○			○					
○			教養ゼミⅢ	各種選択科目から自分の興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	2前	30	1	○			○					
○			教養ゼミⅣ	一般常識や社会的な話題に対する自分の考えや意見を、他者に伝達できるようにすることを目的にディスカッションやロールプレイング形式で学習を行う。	2後	30	1	○			○					
○			コミュニケーション活動Ⅰ	対人関係の円滑化を図る能力を身につけることを目的とし、各種の特別活動を行なう。	1通	30	1	○			○	△	○			
○			コミュニケーション活動Ⅱ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	2通	90	3	○			○	△	○			
○			パソコン利用技術	パソコンの機器構成やWindowsの基本的操作、ファイルの操作など実習を交えて学習する。	1前	30	2	○	△		○		○			
○			HTML基礎	ホームページを構成する言語HTML言語を使って、ホームページを作成する方法を学習する。	1後	30	1	○	△		○				○	
○			HTML応用	魅力的なホームページを作成するために、JavaScriptの基礎を学習し応用力をつける。	2前	30	1	○	△		○				○	
○			表計算基礎	Excelの主要な関数を理解し、実務レベルの帳票を作成するのに十分な能力を習得する。	1前	30	2	○	△		○				○	

○		表計算応用	Microsoft Office Spacialist(Excel)の合格を目指す講座であり、問題演習を重点的に行う。	1後	30	2	○	△	○		○		
○		コンピュータ概論	コンピュータの基本構成、データ表現、論理回路・算術演算回路、高速化技法などを学習する。	1前	30	2	○	△	○		○		
○		アルゴリズム基礎	プログラムを作成するうえで必要となる基本的な流れ図記号、変数への代入方法などのロジックの作り方について学ぶ。	1前	30	2	○	△	○		○		
○		アルゴリズム応用	アルゴリズム基礎に続き、プログラムを作成するうえで必要となる配列処理などのロジックの作り方を学ぶ。	1後	30	2	○	△	○		○		
○		ハードウェア	コンピュータの補助記憶装置、入出力装置や、情報処理システムについて学習する。	1前	30	2	○		○				○
○		ソフトウェア	ソフトウェアの体系、プログラム言語、言語プロセッサ、オペレーティングシステムなどの基礎知識を学習する。	1前	30	2	○		○				○
○		データベース基礎	データベースの種類、特徴、データベースモデル、3層スキーマの考え方やデータベース管理システムなどについて学習する。	1前	30	2	○	△	○				○
○		データベース設計演習	テーブルから始まり、データの入出力用フォームの作成などデータベースを用いたシステム開発演習を行う。	2前	60	2	△	○	○				○
○		システム開発基礎	情報システム戦略、システム開発技術、ソフトウェア開発技術、システム開発環境などについて学習する。	1前	30	2	○		○				○
○		IT戦略とマネジメント	企業活動、企業会計、標準化、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントなどについて学習する。	1前	30	2	○		○				○
○		ネットワーク基礎	データ通信システムの基本構成、各種装置、伝送制御について学習する。	1前	30	2	○		○				○
○		情報セキュリティ	情報セキュリティの概念や、情報セキュリティ技術、管理方法などを学習する。	1前	30	2	○		○				○
○		プログラム言語Ⅰ	C言語を使って、配列・ポインタ・標準関数等の内容を段階的に学習する。	1前	90	3	○	△	○		○		
○		プログラム言語Ⅱ	C言語を使って、構造体やファイル処理などの応用的内容について学習する。	1後	30	1	○	△	○		○		
○		オブジェクト指向設計	代表的なオブジェクト指向設計のUMLについて、その記述方法について学習する。	1後	60	4	○	△	○		○		
○		システム開発演習	身近なテーマを題材に、そのシステム設計を行い、それに基づいてC言語によりコーディングし、さらにテストを行う。	1後	60	2	△	○	○		○		
○		システム開発総合演習	システム開発事例の教材を使い、システム開発の各フェーズ（要件定義、外部設計、内部設計、プログラム設計、開発、テスト）を演習形式で実際に開発していく。	2前	60	2	○		○				○
○		Windowsプログラム基礎	C言語の応用としてC#の基本を学習する。C#で簡単なWindowsアプリケーションを開発する。	1後	60	2	○	△	○		○		○

○	ネットワーク 設計演習	各種機器を組み合わせ小規模なネットワークを構築し、合わせてサーバの構築について学習する。	2 前	60	2	△	○	○	○			
○	企業課題	企業の開発現場で行われていることを実際に学習するため、企業と連携して企業から提供された課題に取り組む。	2 後	60	2		○	○	△	○		
○	情報特別講義 I	各種検定試験に向けて行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。	1 後	120	4		○	○	○	△		
○	情報特別講義 II	各種検定試験に向けて行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。	2 前	120	4		○	○	○	△		
○	情報特別講義 III	各種検定試験に向けて行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。	2 後	60	2		○	○	○	△		
○	制御プログラム	マイコンボードの仕組みやその使い方、さらに接続する周辺機器の制御方法を学習する。	2 前	60	2	○	△	○		○		
○	Office アプリケーション	AccessのVBAプログラム作成方法を学習し、Accessを用いたビジネスアプリを作成する。	2 前	60	2	○	△	○		○	△	
○	Webアプリ ケーション	サーバで動くプログラムを利用し、Webアプリケーションの開発方法を学習する。	2 前	60	2	○	△	○		○	△	
○	表計算アプリ ケーション	ExcelのVBAプログラム作成方法を学習し、Excelを用いたビジネスアプリを作成する。	2 前	60	2	○	△	○		○	△	
○	スマホアプリ ケーション	Android Studioを使ったアンドロイドアプリの開発方法を学習する。	2 前	60	2	○	△	○		○	△	
○	CADオペ レーション	2次元CADソフトの操作方法について学習する。	2 前	60	2	○	△	○		○	△	
○	情報特別講義 IV	各種検定試験に向けて行う対策講座であり、問題演習及び傾向対策を重点的に行う。	2 後	60	4	△	○	○		○	△	
○	CompTIA A特別講義	CompTIA IT Fundamentalsの上位資格であるCompTIA A+の取得を目指す。	2 後	60	4	△	○	○		○		
○	卒業研究	2年間の学習成果をまとめるために、グループごとに研究テーマを設定し、学生が独自に総合的な研究を行う。	2 後	120	8		○	○		○	△	
○	インター ンシップ	インターンシップや入社前研修を行う。	2 後	120	8		○		○		○	
合計			48 科目		2400 単位時間 (107 単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 (1) 全科目の成績評価において不可の評価（評価点60点未満）がないこと (2) 年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上かつ年間出席時限数が425時間以上であること (3) 学納金に未納がないこと 【履修方法】 選択必修科目は、各科目群毎に2科目の内から いずれか1科目を履修し修得する。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
沼津情報・ビジネス 専門学校	昭和58年3月22日	鈴木 経康	〒410-0804 静岡県沼津市西条町17番地1 (電話) 055-961-2555				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 静岡理科大学	昭和27年3月31日	外山 浩介	〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333				
目的	コンピュータやネットワーク技術の進歩に同期して新たなゲーム開発手法が採用される業界ニーズに応えるため、情報技術全般の知識と基礎的なゲーム開発手法を習得し、業界の求める人材像に合うクリエイタを育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士		高度専門士		
工業	専門課程(工業)	ゲームクリエイト科	平成22年文部科学省告示第153号		-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3060	540	2520	540	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数		総教員数		
60人	64人	2人	12人		14人		
学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期: 10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末と学年末に試験を行い、平素の成績と合わせて、60点以上を合格とする。			
長期休み	■学年始め: 4月1日～4月10日 ■夏季: 8月1日～8月31日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級条件	・必須科目及び選択必修科目において不可がないこと。 ・出席率が85%以上であること。 ・学納金が未納でないこと。			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導		課外活動	■課外活動の種類 校外清掃活動、ハイキング、研修旅行、学園祭ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社ビサイド、ソルトライブ株式会社、株式会社すかいらく、株式会社アイエスエフネット等 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	基本情報技術者試験 C言語プログラミング能力認定試験 CGエンジニア検定			
中途退学の現状	■中途退学者 6名 平成27年4月1日時点において 在学者 46名 平成28年3月31日時点において 在学者 40名 ■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止のための取組 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		■中退率 13% (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)				
ホームページ	URL: http://www.numasen.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ゲーム業界ではグラフィックス技術の高度化や以前はごく少数だった大規模なサーバを活用するなど業界全体で利用する技術が高度化している。教育機関でも業界からの要求に合致する人材を育成するため、業界団体やエンジニアと教育について意見交換を行い、授業科目・授業時間に反映させ、常に現場に即した教育内容となるよう改善する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業等のニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係る規則」として、またその運営は「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中林 寿文	NPO法人国際ゲーム開発者協会日本 副理事長	平成30年1月31日	①
今井 翔太	Epic Games Japan 合同会社コミュニティ・マネージャー	平成30年1月31日	③
上杉 徳彦	沼津情報・ビジネス専門学校 教務課長代理	平成30年1月31日	
小山 幸彦	沼津情報・ビジネス専門学校 ゲームクリエイト科 教員	平成30年1月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

#VALUE!

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年3月23日 15:30～17:00

平成28年度 第2回 平成28年7月11日 16:00～18:00

平成29年度 第1回 平成29年3月25日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

新入生の早い段階でのゲーム業界への就職の動機づけを行うことを求められたため、ゲーム会社の採用担当やクリエイターによる、ゲームクリエイターに求められるもの、何を目標として学習を進めていけばよいか等の講演を行った。また、2・3年生のゲーム制作に対するモチベーションを維持する方策の検討も提案されたため、制作に関わる授業内での中間報告的なプレゼンテーションを義務付け、他者の評価を多く取り入れられるように改善を行った。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ゲームプログラマの仕事の流れの概要を理解することを目的としたコンテンツ制作実習を行うため、企業から当該企業に所属するクリエイターを講師として派遣し、校内の実習設備を活用した指導の協力を得られる企業を選定している。また、実習の実施にあたり、企画立案、要件定義、企画書、仕様書、設計、実装までの一連の制作課程において、企業からの課題を提示し、派遣された講師による現場に即した指導から学習成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業・業界団体を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

当校教員と連携企業との連携講義によって行う。実際に企業で企画立案～実装まで制作に携わっている講師が要件定義、基本設計、詳細設計まで業務に関する一連の流れを理解する事を目的に実装作業を行う授業を実施する。授業の最後にはミニゲームを制作し、発表を行う。企業の講師から直接、講評やアドバイスを頂き、作品評価を企業担当者につけてもらい成績評価を決定する。また、当校教員は企業からの指示に基づき、必要な基本的知識、手法における授業を実施する。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
ゲームシステム設計	ゲーム開発において、企画立案～実装までの流れを模擬体験し、各種検討・設計の方法、及び企画書・仕様書・設計書・実装までの一連の作業を学習する。	CLINKS株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「沼津情報・ビジネス専門学校 職員研修規程」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図るため「教職員研修」を、企業等及び研修機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名: Unite2016 Tokyo
主催: ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン
期間: 平成28年4月4日 対象: 教員1名
概要: ゲームエンジンUnity の最新機能や最新ゲーム開発事例の講演

・研修名: CEDEC2016
主催: 一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)
期間: 平成28年8月24日～26日 対象: 教員2名
概要: 日本国内最大のゲーム開発者向け技術交流会 & セミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

主催: MQ総研 寺尾 寿樹
期間: 平成28年8月17日 対象: 教員2名
概要: よりよい学生指導・学生対応に役立てるため、教員自身の行動特性を把握し、「褒める能力」向上に向けた実際の日常に則したトレーニングを行い、コミュニケーションスキルの質的向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・研修名: Unite2017 Tokyo
主催: ユニティ・テクノロジーズ・ジャパン
期間: 平成29年5月8日～5月9日 対象: 教員1名
概要: ゲームエンジンUnity の最新機能や最新ゲーム開発事例の講演

・研修名: CEDEC2017
主催: 一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会 (CESA)
期間: 平成29年8月30日～9月1日 対象: 教員2名
概要: 日本国内最大のゲーム開発者向け技術交流会 & セミナー

②指導力の修得・向上のための研修等

・研修名: 発達障害学生への理解と指導方法、専門学校の高等教育機関としての位置づけ
主催: 静岡県発達障害支援センター、ベネッセ教育総合研究所
期間: 平成29年8月24日 対象: 教員2名
概要: 多様化する学生指導・学生対応に役立てるため、発達障害の理解を図るとともに、適切な指導スキルの向上を図る。また、専門学校の高等教育機関としての位置づけ・役割を再確認し、今後の教育方法を研究していく。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受入れ
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より①学校・学科の理念・目標の一層の公開、②シラバスの学生に向けた公開、③卒業生との関係の強化、④学生の活躍を含めた地域連携の充実などの意見が得られた。

対策として①ホームページでの学校理念、目標等の公開、②学内ネットワークでのシラバスの公開、③同窓会を軸とした卒業生とのネットワークづくり、④地域連携活動への学生の積極参加を今年度の目標に入れ準備・実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 早苗	公益社団法人沼津法人会 女性部会 沼津支部長	平成30年3月31日	地方団体関係者
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
宇賀神 美代子	医療法人社団 真養会 田沢医院 事務長	平成30年3月31日	企業等委員
野田 真人	社会福祉法人信愛会 認定こども園あゆのさと 副園長	平成30年3月31日	企業等委員
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
伊藤 博	株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル 副総支配人	平成30年3月31日	企業等委員
加藤 正樹	静岡県立富士宮北高等学校 教諭	平成30年3月31日	地域住民
土井 宣博	株式会社 雅心苑 代表取締役 社長	平成30年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

公表年月日 : 平成29年6月30日

URL: <http://www.numasen.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営について理解を求めするため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・学修支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

公表年月日 : 平成29年6月30日

URL: <http://www.numasen.ac.jp>

授業科目等の概要

(工業専門課程ゲームクリエイト科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス知識	企業に関する知識、ビジネスに関する礼儀、社外宛て・社内宛ての文書の書き方などについて学習し、社会人として必要な基礎的能力を身につける。	3前	30	2	○			○		○		
○			ビジネスマナー	就職に向けての心構え及び、マナー・接客態度などより実践的な社会人としての基礎的能力を身につける。	3前	30	2	○			○		○		
○			フレッシュマンセミナー	アクティビティーや実践的な内容を多く取り入れ、ルールやマナーを身につけ、挨拶等の基本作法の習慣付けをする。	1前	30	1		○		○		○		
○			キャリアディベロップメントⅠ	コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、基本的な考え方とスキルを身につける。	1通	30	1		○		○		○		
○			キャリアディベロップメントⅡ	組織で活動する上での基本となるコミュニケーションスキルの要素を知り、身につける。	2通	30	1		○		○		○		
○			キャリアディベロップメントⅢ	組織で活動する上での基本となるコミュニケーションスキルの要素を知り、身につける。	3通	30	1		○		○		○		
○			就活ゼミⅠ	就職活動をする上で基本となるルールやマナーを身につけ、計画的に活動できるようにする。	1通	30	1		○		○		○		
○			就活ゼミⅡ	履歴書の書き方やエントリーシートの書き方・面接の受け方など自分をアピールするために必要なスキルを高める。	2通	30	1		○		○		○		
○			教養ゼミⅠ	各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	1前	30	1		○		○		○		
○			教養ゼミⅡ	教養の一環として、コミュニケーション基礎能力を身につけます。自信を身につけることを目標とする。	1後	30	1		○		○			○	
○			教養ゼミⅢ	学科の枠を外し、各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	2前	30	1		○		○			○	
○			教養ゼミⅣ	教養の一環として、コミュニケーション基礎能力を身につけ、自然と誰とでも交流できるようになり、人前で難なく話すことが出来るようになることを目標とする。	2後	30	1		○		○			○	
○			コミュニケーション活動Ⅰ	就職後の対人関係の円滑化を図る能力を身につけることを目的とし、各種の特別活動を行なう。	1通	30	1		○		○		○		
○			コミュニケーション活動Ⅱ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	2通	30	1		○		○		○		
○			コミュニケーション活動Ⅲ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	3通	90	3		○		○		○		

○	ゲーム開発特別講義Ⅰ	ゲームクリエイターになるために必要な知識・技術を習得するために、プロの現場で使用されているツールの習得など、実際のゲーム開発の現場で必要となる知識と技術を学習する。	2後	60	2	△	○	○	○										
○	ゲーム開発特別講義Ⅱ	優秀なゲームクリエイターになるために必要な知識・技術を習得する。より複雑かつ高度なゲーム開発の知識や技術を学ぶ。	3通	30	1	△	○	○	○										
○	シェーダー技術	3次元CGをゲームにて美しく、または効果的に表現するための技術であるシェーダーについて学習する。シェーダーの基本的な仕組みからランバートシェーダーやフォンシェーダー、ポストエフェクトについても学習する。	3通	30	1		○	○	○										
○	ゲームプログラム技術	ゲームの開発に実際使用されているソフトウェアを利用等を通じて、開発現場の先進的な技術を学習する。	3通	30	1		○	○	○										
○	開発システム設計	ゲームプログラムにおいて開発をより効率化するために利用されるゲームライブラリの内部設計を学習する。社内における開発システムを想定し、より具体的なシステム設計を行う。	2後	30	1		○	○	○										
○	モバイルシステム設計	スマートフォン向けゲームの外部設計と内部設計を学習する。スマートフォンのゲームを利用する人の利用環境なども考慮してより具体的で実用的なシステムの設計を行う。	2後	30	1		○	○	○										
○	ゲームライブラリ構造	ゲーム開発を支えるゲーム用のライブラリについて学習する。より使いやすいライブラリとはどのようなものか考え、実際にオリジナルのゲームライブラリを開発する。	3前	90	3	△	○	○	○										
○	モバイルゲームプログラム	スマートフォン向けゲームの学習を行う。AndroidやiPhoneなどのスマートフォン上で実際に動くゲームを開発する技術を学ぶ。	3前	90	3		○	○	○										
○	情報応用特別講義	本講義は、情報処理技術者試験の対策講座であり、各種の問題分析、演習を徹底的に行なう。	3前	90	3	△	○	○	○										
○	データベースプログラミング	データベースを要件に合わせて論理設計、物理設計を行い構築する過程を学習する。その後プログラムからデータベースにアクセスし、要件の処理を実現するという一連の流れを学ぶ。	3後	60	2		○	○	○										
○	モバイルネットワークプログラミング	スマートフォン向けのゲームにおける通信プログラムを学習する。近年のスマートフォン向けゲームでは通信機能が多く見受けられる。通信機能の実現やクラウドを活用した実践的な内容を学ぶ。	3後	60	2		○	○	○										
○	卒業研究	グループごとのテーマにより、3年間の学習成果をまとめる為の総合的な研究を行なう。	3後	270	9				○	○									
○	インターンシップ	企業への研修生として参加し、学校では学ぶことのできない現場の仕事を体験し、ゲーム開発の業務の理解を深める。	3後	270	9				○	○									
合計				64 科目		3600 単位時間 (122 単位)													

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 (1) 全科目の成績評価において不可の評価(評価点60点未満)がないこと (2) 年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上でかつ年間出席時限数が425時間以上であること (3) 学納金に未納がないこと		1学年の学期区分	2期
【履修方法】 選択必修科目は、9科目の内から、4科目450時間を履修し修得する。		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
沼津情報・ビジネス 専門学校	昭和58年3月22日	鈴木 経康	〒410-0804 静岡県沼津市西条町17番地1 (電話) 055-961-2555				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 静岡理科大学	昭和27年3月31日	外山 浩介	〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333				
目的	高齢者・患者の増大に伴い、医師を始めとする医療専門職の負担が増大する現代において、その補佐および援助を行う医療事務員の育成は医療現場において必須であると考え。今後必要とされる医療事務員は診療報酬請求能力のみならず、接遇やマナー、医療基礎知識をも兼ね備えた、即戦力として活躍できる人材である。これらの能力を育成し、地域社会に貢献できる医療事務員を輩出していくことを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	専門課程(商業実務)	医療事務科	平成22年文部科学省告示第153号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040	420	1470	150	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
40人	52人	2人	13人	15人			
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 学期末と学年末に試験を行い、平素の成績と合わせて、60点以上を合格とする。			
長期休み	■学年始め：4月1日～4月10日 ■夏季：8月1日～8月31日 ■冬季：12月20日～1月10日 ■学年末：3月21日～3月31日		卒業・進級条件	・必須科目及び選択必修科目において不可がないこと。 ・出席率が85%以上であること。 ・学納金が未納でないこと。			
生徒指導	■クラス担任制：有 ■長期欠席者への指導等の対応 ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導		課外活動	■課外活動の種類 校外清掃活動、ハイキング、研修旅行、学園祭 ■サークル活動：有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 医療法人社団 親和会 西島病院 一般財団法人 富士脳障害研究所附属病院 他 ■就職率 ^{※1} ：95% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} ：86.3% ■その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	■公益財団法人日本医療保険事務協会主催 診療報酬請求事務能力認定試験 ■一般社団法人医療秘書教育全国協議会主催 医療秘書技能検定試験 ■一般社団法人医療秘書教育全国協議会主催 医事コンピュータ技能検定試験 ■一般社団法人医療秘書教育全国協議会主催 電子カルテ実技検定試験 ■一般社団法人医療秘書教育全国協議会 医師事務作業補助技能認定			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成28年4月1日時点において 在学者 53名 平成29年3月31日時点において 在学者 52名 ■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止のための取組 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		中退率	1.8% (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)			
ホームページ	URL: http://www.numasen.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療事務員の即戦力として活躍できる専門知識の習得に必要な教育時間を基にカリキュラム編成を行い、各種資格取得を目指す中で、現在の医療事務業界において注目されている「医師事務作業補助者」として必要な技能・知識等を持った人材育成を目指している。そのため、教育課程編成委員会を開催し、医療業界のニーズに合致するように常に見直し、カリキュラムおよびシラバスの内容を改善している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業等のニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営は「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
石本 良之	一般社団法人医療秘書教育全国協議会 事務局長	平成30年1月31日	①
川端 真一	医療法人社団宏和会 岡村記念病院 医事課長	平成30年1月31日	③
池田 優	沼津情報・ビジネス専門学校 医療事務科 教員	平成30年1月31日	
瀧田 強	沼津情報・ビジネス専門学校 教務課長	平成30年1月31日	
大川 恵理子	沼津情報・ビジネス専門学校 医療事務科 教員	平成30年1月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 平成28年度(平成28年3月29日、平成28年8月30日)、平成29年度(平成29年2月22日、8月)

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年3月29日 13:00～14:40

平成28年度 第2回 平成28年8月30日 13:00～14:30

平成29年度 第1回 平成29年2月22日 13:00～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会において「今回の点数改正では様々な診療報酬が減点されるなか医師事務作業補助者体制加算は増点であった。今後はカリキュラムを医師事務作業補助者を育成するような内容に変更してはどうか。」と指摘あり。電子カルテ演習ではより多くの事例を取り上げ取り組むことによって学生のSOAP(診療録・カルテの書式)への理解、操作力のほか実務上の診察の流れや院内での関わりについても学習させるようにしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

地域に密着した医療機関(病院・診療所・薬局等)であって、過去の学生の実習受入れ実績や就職状況等を考慮したうえで、学生の希望を元に実習依頼を行っている。また、実習内容については、実際の医療現場の雰囲気や業務に慣れること、更に実習でしか学べない人との繋がりや業務上特に注意すべきことを学ぶために、窓口(受付・会計)業務のみならず、カルテ庫や病棟など可能な限り広範囲に渡る実習をお願いしている。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

授業科目の担当教員と受け入れ医療機関の担当者にて、実習前に実習スケジュールや実習内容の打ち合わせを行っている。また学生に対して、マナー、患者対応、守秘義務等についての事前指導を行っている。実習期間中は、担当教員が各医療機関を1回巡回し、学生の学習状況を直接確認し、実習担当者と情報交換を行う。実習終了後には、実習担当者からの実習評価表と事後に作成する報告書、報告のプレゼンテーションによって担当教員が成績評価を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習	実際の医療現場で業務を行い、人との関わりに触れることで、座学では学ぶことのできない実践的な学びを促進し、即戦力となる人材育成の総仕上げを行う。	公益社団法人有隣厚生会 東部病院 医療法人社団静岡健生会 三島共立病院 医療法人社団青虎会 フジ虎ノ門整形外科病院 静岡厚生連 リハビリテーション中伊豆温泉病院 日本赤十字社 伊豆赤十字病院

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「沼津情報・ビジネス専門学校 職員研修規程」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図るため「教職員研修」を、企業等及び研修機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名: 医事コンピュータ技能検定関連研修会
主催: 医療秘書教育全国協議会
期間: 平成28年年5月15日 対象: 教員1名
概要: 医事コンピュータ検定試験科目である、実技オペレーション・医療事務学科の研修により、検定対策指導に向けた技能の向上を図った。
- ・研修名: 医療教員研修会
主催: 医療秘書教育全国協議会
期間: 平成28年年8月23日～24日 対象: 教員1名
概要: 医療秘書教育全般にわたる研修により、専門知識の習得を図った。
- ・研修名: 診療報酬請求事務研修会
主催: 日本医療保険事務協会
期間: 平成28年年10月13日～14日 対象: 教員1名
概要: 診療報酬改定の概要及び医療保険制度をめぐる諸情勢について研修により専門知識の習得を図った。

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名: 職場や教室で活かせるコミュニケーションスキルの質の向上
主催: MQ総研 寺尾 寿樹
期間: 平成28年8月17日 対象: 教員2名
概要: よりよい学生指導・学生対応に役立てるため、教員自身の行動特性を把握し、「褒める能力」向上に向けた実際の日常に則したトレーニングを行い、コミュニケーションスキルの質的向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名: 内容: 医事コンピュータ技能検定関連研修会
主催: 医療秘書教育全国協議会
期間: 平成29年5月14日 対象: 教員1名
概要: 医事コンピュータ検定試験科目である、実技オペレーション・医療事務学科の研修により、検定対策指導に向けた技能の向上を図った。
- ・研修名: 医療教員研修会
主催: 医療秘書教育全国協議会
期間: 平成29年8月中旬 対象: 教員1名
概要: 医療機関における医療秘書、医師事務作業補助者の現状と、今後必要とされる人材についての研修を受ける。
- ・研修名: 診療報酬請求事務研修会
主催: 日本医療保険事務協会
期間: 平成29年10月中旬 対象: 教員1名
概要: 診療報酬請求事務従事者に対する研修に参加し、最新の医療事務実務を学ぶ。
- ・研修名: 医療報酬(医科)点数表改正説明会
主催: 日本医療保険事務協会
期間: 平成29年3月中旬 対象: 教員2名
概要: 平成30年度診療報酬改定の概要についての研修により、診療報酬に関するより新しい知識を習得する。

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名: 発達障害学生への理解と指導方法、専門学校の高等教育機関としての位置づけ
主催: 静岡県発達障害支援センター、ベネッセ教育総合研究所
期間: 平成29年8月24日 対象: 教員2名
概要: 多様化する学生指導・学生対応に役立てるため、発達障害の理解を図るとともに、適切な指導スキルの向上を図る。また、専門学校の高等教育機関としての位置づけ・役割を再確認し、今後の教育方法を研究していく。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2)学校運営	基準(7) 学校運営
(3)教育活動	基準(2) 教育活動
(4)学修成果	基準(3) 教育成果
(5)学生支援	基準(4) 学生支援
(6)教育環境	基準(5) 教育環境
(7)学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受入れ
(8)財務	基準(7) 財務
(9)法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献
(11)国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より①学校・学科の理念・目標の一層の公開、②シラバスの学生に向けた公開、③卒業生との関係の強化、④学生の活躍を含めた地域連携の充実などの意見が得られた。

対策として①ホームページでの学校理念、目標等の公開、②学内ネットワークでのシラバスの公開、③同窓会を軸とした卒業生とのネットワークづくり、④地域連携活動への学生の積極参加を今年度の目標に入れ準備・実施している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 早苗	公益社団法人沼津法人会 女性部会 沼津支部長	平成29年3月31日	地方団体関係者
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	平成29年3月31日	企業等委員
宇賀神 美代子	医療法人社団 真養会 田沢医院 事務長	平成29年3月31日	企業等委員
野田 真人	社会福祉法人信愛会 認定こども園あゆのさと 副園長	平成29年3月31日	企業等委員
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル 代表取締役	平成29年3月31日	企業等委員
伊藤 博	株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル 副総支配人	平成29年3月31日	企業等委員
加藤 正樹	静岡県立富士宮北高等学校 教諭	平成29年3月31日	地域住民
土井 宣博	株式会社 雅心苑 代表取締役 社長	平成29年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

公表年月日：平成29年6月30日

URL:http://www.numasen.ac.jp

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営について理解を求めするため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2)各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3)教職員	教職員数、組織、研修
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6)学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8)学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11)その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

公表年月日：平成29年6月30日

URL:http://www.numasen.ac.jp

授業科目等の概要

(商業実務専門課程医療事務科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネス知識	社会人として成長するために一般常識的学習を行うだけでなく、講師の体験談や例題を元に「社会人と学生の違い」について考える。	2通	60	2		○		○		○		
○			コミュニケーション活動Ⅰ	対人関係の円滑化を図る能力を身につけることを目的とし、各種の特別活動を行なう。	1通	30	1		○		○		○		
○			コミュニケーション活動Ⅱ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	2通	90	3		○		○		○		
○			フレッシュマンセミナー	思いやりのある誠実な心（挨拶、時間、掃除）をコンセプトに、アクティビティーや実践的な内容を多く取り入れ、挨拶等の基本作法の習慣付けをする。	1前	30	1		○		○		○		
○			キャリアディベロップメントⅠ	コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、基本的な考え方とスキルを身につける。	1後	30	1		○		○		○		
○			キャリアディベロップメントⅡ	社会や組織で必要とされるコミュニケーションスキルについて、より実践的に理解を深める。	2前	30	1		○		○		○		
○			就活ゼミⅠ	就職活動を始めるに当たり、業界研究や企業研究等の手順を学ぶとともに、自己分析などを行う。	1後	30	1		○		○		○		
○			就活ゼミⅡ	履歴書の書き方やエントリーシートの書き方・面接の受け方など自分をアピールするために必要なスキルを高める。	2前	30	1		○		○		○		
○			教養ゼミⅠ	各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	1前	30	1		○		○			○	
○			教養ゼミⅡ	目指す職業・業界に必要とされる一般的知識を含めた教養を高めるための学習を行う。	1後	30	1		○		○		○		
○			教養ゼミⅢ	各種選択科目から自分に興味のある科目を選択し、一般教養力の向上をはかるための学習を行う。	2前	30	1		○		○			○	

○		医療情報管理	診療録の記載方法や電子カルテについての導入手順、そのメリットやデメリットを学び、学習ソフトを使用した実習で入力方法や代行入力業務についての理解を高める。	2前	30	2	○			○		○	
○		基礎医学	医療従事者として知っておくべき人体の解剖生理学について学び、他職種との会話、診療録の読み取り、患者応対時のコンシェルジュ等に必要の専門知識を育成する。	1前	30	2	○			○		○	
○		臨床医学	基礎医学を基盤とし、現代社会に増加傾向にある病気を中心に病理の発生や仕組み、症状や治療等について学ぶ。	1後	30	2	○			○		○	
○		病院管理	病院内の他職種理解のため、各部署の役割や業務内容について実際の医療現場の職業人より講義を受け、医療事務としての補佐方法や関わり方について考える。	1前	30	2	○			○		○	
○		ケア・コミュニケーション	患者及び他職種との信頼関係の基礎となる対応ポイントについて、様々な事例についてグループワーク形式で検討し、コミュニケーション能力を育成する。	2前	30	2	○			○		○	
○		介護保険制度	介護保険の基礎知識を学習し、申請方法やサービス内容・サービスまでの流れ等を理解することにより、患者援助の選択肢を広げることを目的とする。	1後	30	2	○			○		○	
○		介護保険事務	介護保険制度の知識を元とし、介護保険請求事務の概略や請求手続き、計算方法についての学習を行う。	2前	30	2	○			○		○	
○		医科診療報酬請求事務	医療機関で必須となるレセプトの基本事項、診療点数早見表の使い方について学ぶことに加え、医療機関の施設基準に対する理解を深める。	1通	180	6	○			○		○	
○		医事コンピュータ概論	コンピュータ全般に関する基本知識を学習することにより、レセプトコンピュータをはじめとする病院情報システムの操作に必要なとされる情報処理用語を理解する。	1前	30	2	○			○		○	
○		医事コンピュータⅠ	医事コンピュータ専用ソフトを使用した外来患者の医療費の計算方法を学び、出来上がったレセプトを確認することで、レセプトチェック能力を養う。	1後	60	2	○			○		○	
○		医事コンピュータⅡ	医事コンピュータ専用ソフトを使用した入院患者の医療費の計算方法を学習することに加え、DPC制度に対する理解や計算方法まで学習する。	2前	60	2	○			○		○	
○		医療秘書検定Ⅰ	病院内で使用される医療略語や病理についての医療知識、医療制度や法律などについての専門知識を学び、医療秘書検定2、3級の合格を目指す。	1後	60	2	○			○		○	
○		医療秘書検定Ⅱ	より高度な医療略語や病理、薬剤等についての医療知識、医療制度や法律などについての専門知識を学び、医療秘書検定準1、2級の合格を目指す。	2前	60	2	○			○		○	
○		診療報酬請求事務検定Ⅰ	診療報酬請求事務能力認定試験（医科）のための対策講座。レセプト記入およびチェック時の注意点について演習を主体とした学習を行う。	1後	60	2	○			○		○	

○		診療報酬請求事務検定Ⅱ	診療報酬請求事務能力認定試験（医科）のための対策講座。レセプト記入およびチェック時の注意点について演習を主体とした学習を行う。	2通	120	4		○	○		○		
○		医療関連法規	医療事務の業務として挙げられる書類作成時等に大きく関わる医療法を始めとした、医療機関に関わる法律を学ぶ。	1前	30	2	○		○		○		
○		電子カルテ演習	電子カルテの導入までの流れや書き方を学習し、それを元にパソコンでのカルテ入力の方法やポイントについて演習形式で学んでいく。	2前	30	1		○		○		○	
○		医療関連特別講義	実際に病院で働く他職種の方から直接講義を受けることで医療事務の種類の幅やメディカルの仕事内容・関わり方について学ぶ。	1通	30	2	○			○			○
○		病院実習	実際の医療現場で業務を行い、人との関わりに触れることで、座学では学ぶことのできない実践的な学びを促進し、即戦力となる人材育成の総仕上げを行う。	2前	90	3			○	△	○	△	○
○		卒業研究	2年間の学習のまとめとし、病院実習先での特徴や重大課題など医療に関するテーマの研究発表を行い、「説明能力」「情報収集・処理能力」等を身につける。	2後	60	2			○	○		○	
合計				45 科目	2040 単位時間			(82 単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 (1) 全科目の成績評価において不可の評価（評価点60点未満）がないこと (2) 年間出席時限数が年間消化時限数の85%以上でかつ年間出席時限数が425時間以上であること (3) 学納金に未納がないこと 【履修方法】 全て必修科目である。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
沼津情報・ビジネス 専門学校	昭和58年3月22日	鈴木 経康	〒410-0804 静岡県沼津市西条町17番地1 (電話) 055-961-2555				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 静岡理科大学	昭和27年3月31日	外山 浩介	〒420-8538 静岡県静岡市葵区相生町12-18 (電話) 054-200-3333				
目的	働く女性や複雑な家庭環境が増える中、社会のニーズに応えられる保育士・幼稚園教諭の育成が急務となっている。保育・教育のプロとしての技術・能力・視野と感性を養い、即戦力として活躍できる保育士・幼稚園教諭を育成し、地域に輩出していくことを目的とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・ 社会福祉	専門課程 (教育・社会福祉)	こども保育科	平成22年文部科学省告 示第152号	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼間	3225	1105	2450	300	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
100 人	86 人	2 人	14 人	16 人			
学期制度	前期: 4月1日～9月30日 後期: 10月1日～3月31日		成績評価	成績表: 有 成績評価の基準・方法 学期末と学年末に試験を行い、平素の成績と合わせて、60点以上を合格とする。			
長期休み	学年始め: 4月1日～4月10日 夏季: 8月1日～8月31日 冬季: 12月20日～1月10日 学年末: 3月21日～3月31日		卒業・進級 条件	・必須科目及び選択必修科目において不可がないこと。 ・出席率が85%以上であること。 ・学納金が未納でないこと。			
生徒指導	クラス担任制: 有 長期欠席者への指導等の対応 ・指導教員との面談 ・家庭連絡により保護者と連携して指導		課外活動	課外活動の種類 校外清掃活動、ハイキング、学園祭、 保育・教育実習、ボランティアなど サークル活動: 有			
就職等の 状況	主な就職先、業界等 保育所:野中保育園、わかくさ保育園、みどりご保育園 幼稚園:西ヶ丘幼稚園、しょうえい幼稚園 就職率^{※1}: 100% 卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 100% その他 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)		主な資格・ 検定等	保育士 幼稚園教諭二種 社会福祉主事 幼稚園・保育園のためのリミック指導資格 おもちゃインストラクター養成講座 話しことば検定 幼児体育指導者資格 救命救急法メディック・ファーストエイド(MFA)			
中途退学 の現状	中途退学者 6名 平成28年4月1日時点において 在学者 79名 平成29年3月31日時点において 在学者 73名 中途退学の主な理由 進路変更のため 中退防止のための取組 担任制を取っており担任が毎日の出欠席をチェックしている。担任が授業の欠課数に応じて保護者連絡や保護者を交えた3者面談を実施している。 さらに、毎週の系会議や運営会議にて学生動向について報告、対応策を検討している。また、精神的な悩みを持っている学生に対し、学校専属のカウンセラーにて週1回希望者に向けてカウンセリングを受けることができる仕組みを取り入れている。		中退率	7.6% (平成28年4月1日入学者を含む) (平成29年3月31日卒業者を含む)			
ホームページ	URL: http://www.numasen.ac.jp/						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

保育・幼児教育の分野において、社会・家庭環境の変化について理解を深め、教育現場の変化に対応した指導方法を取り入れていくことが必須となっている。そのために教育課程編成委員会を開催し、業界団体や保育現場の職員との意見交換や情報収集を行い、授業科目・授業時間に反映させ、常に現場に即した教育内容となるよう改善する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

企業等のニーズを教育に反映させるため、学校組織内における教育課程編成委員会の位置付けを「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会の位置付けに係わる規則」として、またその運営は「沼津情報・ビジネス専門学校 教育課程編成委員会規則」として規定しており、委員会の意見を教育課程の編成に反映できる体制となっている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
鶴谷 圭一	沼津市私立幼稚園協会 会長	平成30年1月31日	①
向坂 武揚	学校法人向坂学園 春の木幼稚園 園長	平成30年1月31日	③
深澤 みほ	沼津情報・ビジネス専門学校 こども保育科 教員	平成30年1月31日	
瀧田 強	沼津情報・ビジネス専門学校 教務課長	平成30年1月31日	
三枝 昌美	沼津情報・ビジネス専門学校 こども保育科 教員	平成30年1月31日	
西島 恵里	沼津情報・ビジネス専門学校 こども保育科 教員	平成30年1月31日	
井村 友美	沼津情報・ビジネス専門学校 こども保育科 教員	平成30年1月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 (平成28年3月24日、平成28年8月29日 平成29年3月6日、8月)

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年3月24日 10:00～12:00

平成28年度 第2回 平成28年8月29日 15:00～16:15

平成29年度 第1回 平成29年3月 6日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員より、就職後のギャップを減らし離職を防止するために「オープン園システム(仮称)」を構築してはどうかとの提案をいただいた。その後、本校から、本校学生の各幼稚園への派遣・受け入れ方法案を提示し、沼津市私立幼稚園協会にて「交流園システム」として承認をいただき、学生の負担を減らした形で園見学またはボランティアの受け入れを相互に行っている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

食というものを専門とした企業であって、その中でも「食育」「幼児食」というものに精通している企業・団体を選定している。また、校内での授業・実習の実施にあたり、企業から課題を提示し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導から学修成果の評価を行うなどの体制をとることが可能な企業・業界団体を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

連携企業との事前打合せにて、実践的な「食育」に関する教育項目を検討・決定した。教育項目については、連携企業の業務実績に基づき、食育の理解、幼児への援助と家庭へのサポートの方法、保育現場への食育などを基本とし、講義・演習を行った。
また、評価については、当方から提示した評価項目について、連携企業にて成績評価、認定を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
子どもの食と栄養Ⅰ	小児の発育・発達の特徴、栄養に関する基本的な知識をふまえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育教育の重要性を理解する。	有限会社 フードメディアデザイン

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にしていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「沼津情報・ビジネス専門学校 職員研修規程」を定め、教員の資質、人間性、専門分野における知識、技術の向上を図るため「教職員研修」を、企業等及び研修機関と連携し、育成対象の教員に対し組織的及び計画的に実施している。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修:ワンダーサマースクール
主催:株式会社世界文化社
期間:平成28年8月2日 対象:教員1名
概要:保育分野にて活躍中のゲスト講師から、歌遊び・手遊び・ペープサートなど保育技術や最新の知的教育について学ぶ。
- ・研修名:近畿大学九州短期大学事務連絡会
主催:近畿大学九州短期大学 講師
期間:平成28年8月26日 対象:教員1名
概要:事務連絡会と共に、学習カルテの導入・使い方についてポイントをおさえる。

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名:職場や教室で活かせるコミュニケーションスキルの質の向上
主催:MQ総研 寺尾 寿樹
期間:平成28年8月17日 対象:教員3名
概要:よりよい学生指導・学生対応に役立てるため、教員自身の行動特性を把握し、「褒める能力」向上に向けた実際の日常に則したトレーニングを行い、コミュニケーションスキルの質的向上を図る。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・研修名:よみきかせ基本講座
主催:ぬまづ子どもの本を学ぶ会 村上 慶子
期間:平成29年5月24日 対象:教員3名
概要:幼稚園・保育園の子どもたちを対象に、読み聞かせを行う際の、基本の所作やマナーを学ぶ。
また、絵本の選び方を学ぶ。
- ・研修名:九州短期大学事務連絡会
主催:九州短期大学 講師
期間:平成29年8月25日 対象:教員1名
概要:通常の事務連絡会と共に、カリキュラム改正のポイントをおさえる。

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・研修名:発達障害学生への理解と指導方法、専門学校の高等教育機関としての位置づけ
主催:静岡県発達障害支援センター、ベネッセ教育総合研究所
期間:平成29年8月24日 対象:教員4名
概要:多様化する学生指導・学生対応に役立てるため、発達障害の理解を図るとともに、適切な指導スキルの向上を図る。また、専門学校の高等教育機関としての位置づけ・役割を再確認し、今後の教育方法を研究していく。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校における学校関係者評価は、年度の教育活動をまとめた自己点検評価報告書について外部の学校関係者から意見をいただき、学校教育に反映させることにより、教育活動及び学校運営をより良いものに改善することを目的として運営している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準(1) 教育理念、目標
(2) 学校運営	基準(7) 学校運営
(3) 教育活動	基準(2) 教育活動
(4) 学修成果	基準(3) 教育成果
(5) 学生支援	基準(4) 学生支援
(6) 教育環境	基準(5) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準(6) 学生の募集と受入れ
(8) 財務	基準(7) 財務
(9) 法令等の遵守	基準(7) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準(8) 社会貢献
(11) 国際交流	基準(8) 国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員より①学校・学科の理念・目標の一層の公開、②シラバスの学生に向けた公開、③卒業生との関係の強化、④学生の活躍を含めた地域連携の充実などの意見が得られた。

対策として①ホームページでの学校理念、目標等の公開、②学内ネットワークでのシラバスの公開、③同窓会を軸とした卒業生とのネットワークづくり、④地域連携活動への学生の積極参加を今年度の目標に入れ準備・実施している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
田中 早苗	公益社団法人沼津法人会 女性部会長	平成30年3月31日	地方団体関係者
曾根 輝夫	ランアンドケントス株式会社 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
宇賀神 美代子	医療法人社団 真養会 田沢医院 事務長	平成30年3月31日	企業等委員
野田 真人	社会福祉法人信愛会 認定こども園あゆのさと 副園長	平成30年3月31日	企業等委員
廣住 和良	株式会社ディスタンス・インターナショナル 代表取締役	平成30年3月31日	企業等委員
伊藤 博	株式会社KTSオペレーション 沼津リバーサイドホテル 副総支配人	平成30年3月31日	企業等委員
加藤 正樹	静岡県立富士宮北高等学校 教諭	平成30年3月31日	地域住民
土井 宣博	株式会社 雅心苑 代表取締役 社長	平成30年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

公表年月日：平成29年6月30日

URL: <http://www.numasen.ac.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育活動及び学校運営について理解を求めするため、詳細について「学校評価報告書」と「学校情報」をホームページ上で公開している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、教育理念、教育目標
(2) 各学科等の教育	入学者数、学修時間数、取得可能資格、卒業者数、主な就職先
(3) 教職員	教職員数、組織、研修
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、課外活動
(6) 学生の生活支援	カウンセリング、保護者との連携体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、経済的支援措置
(8) 学校の財務	資金収支計算書、貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ、派遣状況
(11) その他	その他の教育活動(附帯事業等)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

公表年月日：平成29年6月30日

URL: <http://www.numasen.ac.jp>

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程こども保育科) 平成29年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			フレッシュマンセミナー	思いやりのある誠実な心（挨拶、時間、掃除）をコンセプトに、アクティビティーや実践的な内容を多く取り入れ、挨拶等の基本作法の習慣付けをする。	1前	30	1	○			○					
○			キャリアディベロップメントⅠ	コミュニケーションスキルの自己の強みと弱みを知り、基本的な考え方とスキルを身につける。	1通	30	1	○			○					
○			キャリアディベロップメントⅡ	社会や組織で活動する上での基本となるコミュニケーションスキルの要素を知り、身に付ける。	2通	30	1	○			○					
○			キャリアディベロップメントⅢ	社会や組織で必要とされるコミュニケーションスキルについて、より実践的に理解を深める。	3通	30	1	○			○					
○			就活ゼミⅠ	就職活動を始めるに当たり、業界研究や企業研究等の手順を学ぶとともに、自己分析などを行う。	1通	30	1	○			○					
○			就活ゼミⅡ	履歴書の書き方やエントリーシートの書き方・面接の受け方など自分をアピールするために必要なスキルを高める。	2通	30	1	○			○					
○			コミュニケーション活動Ⅰ	対人関係の円滑化を図る能力を身につけることを目的とし、各種の特別活動を行なう。	1通	30	1	○			○					
○			コミュニケーション活動Ⅱ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	2通	60	2	○			○					
○			コミュニケーション活動Ⅲ	各種の特別活動を通じて、集団活動における個人の役割分担を再確認する。	3通	30	1	○			○					
○			ビジネスマナーⅠ	ビジネスに関するマナーや知識に関する一般常識を学習する。	1前	30	2	○			○				○	
○			ビジネスマナーⅡ	就職や実習に必要なビジネスマナー、一般常識、面接指導など行う。	2前	30	2	○			○				○	
○			ペン習字	正しく読みやすい文字が書ける技術を習得し、保育者として正しい文字が書けるよう学習する。	3前	30	2	○			○				○	
○			色彩学	色彩の基本を学び、制作物や教室内飾り付けなどに活かしていく。	3後	30	2	○			○				○	

○		生活と経済	ファイナンシャル・プランニングの概論について学習をし、ライフイベント表・キャッシュフロー表・個人のバランスシート（貸借対照表）の作成ができることを目標として、学習をする。	3通	30	2	○		○	○								
○		トータルイメージアップ	隠れた能力や表現力を引き出し、コミュニケーション技術やさまざまな表現を楽しく学ぶ。	3後	30	2	○		○									○
○		ビジネスソフトⅠ	ExcelとWordの操作方法と利用技術を実習中心に学習する。	1後	30	1		○	○									○
○		ビジネスソフトⅡ	メモ書き原稿からの文書作成や、図・表・グラフを含んだ文書などを作成する技術を学ぶ。	2前	30	1		○	○									○
○		ビジネスソフトⅢ	幼稚園・保育園で使うプリント・保護者向けのおたよりなどをオフィスソフトで作成する。	3前	30	1		○	○									○
○		英会話Ⅰ	日常の会話を英語で楽しむことができるよう基礎的な事柄を、練習問題を交えて勉強する。また、会話に伴う発音などを耳から学ぶ。	1前	15	1		○		○								○
○		健康科学Ⅰ	スポーツ活動との関連の中で健康や体力に関する知識や感心を高め、合理的な運動実践を習慣化する。	1前	15	1		○		○								○
○		日本国憲法	日本国憲法の全体的な枠組みを体系的に理解しながら、憲法が求めている理念とは何か、又、現代社会との間にどのようなギャップがあるかを学習する。	1後	30	2		○		○								○
○		情報処理入門Ⅰ	コンピュータの発達過程やハードウェアの仕組みについて学ぶ。また、インターネットを活用し、最新技術や動向を調べ・学ぶ。	1前	15	1		○		○								○
○		児童家庭福祉	将来を担う子どもたちに向かう児童福祉実践者として、基本的・体系的に学習し、現在の児童福祉に関する知識を理解していく。	2後	30	2		○		○								○
○		社会福祉	将来において「児童福祉」を推進する保育士に必要な社会福祉の基本的な事柄を学ぶ。	1後	30	2		○		○								○
○		教育原理	教育の本質と意義を理解し、教育に関する基本的な概念と知識の習得を図ることを目標とする。	1通	30	2		○		○								○
○		保育原理	乳幼児の特性や保育の思想・制度の発達などを理解し、保育に関する基本的な知識を学習する。	2前	30	2		○		○								○
○		教育心理学	子どもの学習行動の概念を学び、筋道を立てて考える思考の形成、勉強の仕方、学習に対する意欲・自発性・態度・学習を肯定する価値観を軸にして学ぶ。	1後	15	1		○		○								○
○		造形表現（指導法）	幼児の造形（絵画や粘土・工作）表現様式の発達段階を主体にいたものと、幼児期の身体的な発達を併記した一覧表の作成をする。	1前	15	1		○		○								○

○		発達心理学	人間の発達生涯発達であることを基本において、乳幼児、児童、そして青年、高齢者までの心理について考える。	2 前	30	2	○		○		○	
○		青年心理学	青年期の発達について学び、誕生から青年期に至るまでの発達の連続性を見通して保育を行うことが出来るための知識を学ぶ。	2 後	15	1	○		○		○	
○		家族支援論	子どもを取り巻く社会環境について考察し、これからの家族の在り方、役割を考える。	2 後	30	2	○		○		○	
○		障がい児保育	子どもの心身の発達について及び脳の発達について理解を深め、それを基盤にして子どもの知的・身体的障害についての理解を深める。	2 後	15	1	○		○		○	
○		児童文化	伝承する文化全般のなかでの子ども達に関わる領域の文化を学ぶ。実践的な指導が出来るようになることを目標とする。	3 前	15	1	○		○		○	
○		子どもの保健 I①	保育者として、乳幼児の健康状態の把握、および、観察力を習得する。また、異常症状の把握の仕方と、応急処置を習得する。	1 後	30	2	○		○		○	
○		子どもの保健 I②	保育者として、乳幼児の健康状態の把握、及び、観察力を習得する。異常症状の把握の仕方と、応急処置を習得する。保育中の事故防止と安全教育について理解、対処できるようにする。	2 前	30	2	○		○		○	
○		子どもの食と 栄養 I	小児の発育・発達特性、栄養に関する基本的な知識をふまえ、小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食教育の重要性を理解する。	2 前	15	1	○	△	○		○	○
○		社会的養護	福祉に欠ける児童の生存権、発達権を保障し、健全育成を目指すために、児童福祉施設入所児童に対する、養護の基本的なあり方を探ることを目標とする。	1 前	30	2	○		○		○	
○		乳児保育	児童福祉施設における3歳未満児の保育についての概念と意義を把握し、制度と現状を理解する。	3 前	15	1	○		○		○	
○		教育課程総論	将来保育に関する専門職に就こうとする一人ひとりの者が、他からの借り物の計画に頼るのではなく、自分の担当する子どもたちの実態に即して、自主的に教育計画を編成することができるようになるために必要な基本的な力を養うことを目指す。	1 後	30	2	○		○		○	
○		教育方法論	幼稚園教育要領及び保育所保育指針では、保育を見つめるのに5領域が定められており、これらの保育内容各論を総合的に捉える事が大切である。未来の保育者としてどのような願いを持ち、一人ひとりの乳児・幼児の育ちをどのように指導・援助していくことができるかを考え、実践する態度を育成する。	1 前	30	2	○		○		○	
○		教職概論	今、教師に何が求められているのかを考えることから、教育という仕事を遂行していくための能力を形成することを目指す。	1 前	30	2	○		○		○	

授業科目等の概要

(教育・社会福祉専門課程こども保育科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
	○		手芸	手芸の基礎を学び、手縫い・ミシン縫いを行う。実習のプレゼントに出来るような小物作りに困らないような技術を身に付ける。	全通	30	2		○		○	○			
	○		公務員対策Ⅰ	公務員試験の制度・手順を学び、試験に備える。また、求められている人材像などを調べる。	全通	60	4		○		○	○			
	○		公務員対策Ⅱ	受験市町村を決め、具体的な過去問題や小論文などに挑戦する。	全通	120	8		○		○	○			
	○		公務員対策Ⅲ	受験市町村を決め、具体的な過去問題や小論文などに挑戦する。	全通	30	2		○		○	○			
			公務員面接対策	自己分析、自己PRから模擬面接の練習まで一貫した対策を行う。	全通	30	2		○		○	○			
	○		食文化	日本の食文化について「旬」「行事食」「郷土料理」に焦点を当て、「食」の幅広い知識を学ぶ。	全通	30	2		○		○	○			
	○		食と健康	子どもの食と健康について学び、健康の基本となる食習慣についての知識を深める。	全通	30	2		○		○	○			
	○		スイーツラッピング	ラッピングするものをスイーツに絞って、スイーツ特有のラッピングについて学ぶ。スイーツの特徴にも気をつける。	全通	30	2		○		○	○			
	○		乳児食実習	乳児期の栄養法を理解し、調理技能の修得を目指す。また、試食を通して味の特徴を学ぶ。	全通	30	2		○		○		○		
	○		ギフトラッピング	ラッピングのマナーを学び、基本的な包みやりボンのかけ方を学ぶ。	全通	30	2		○		○	○			
	○		こどもの食と栄養Ⅱ	生涯にわたる健康と生活の基礎である子どもの食生活と栄養はについて学ぶ。	全通	30	2		○		○		○		

○	レクリエーションⅡ	運動遊びやゲームを通して、コミュニケーションスキルを身につける。	全通	30	2	○	○	○					
○	リトミックⅢ	各年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法を学ぶ。	全通	30	2	○	○	○					
○	レクリエーションⅢ	運動遊びを通してチームワークの必要性や協調性について学ぶ。	全通	30	2	○	○	○					
○	MFA講座	小児・乳児・成人のための心配蘇生法や、AEDとその他の応急手当の方法を習得する。	全通	30	2	○	○	○					
合計			選択必修 29 科目	990 単位時間		(66 単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
【卒業要件】 ①全ての科目において成績評価に不可がないこと。 ②総欠課時限数が年間消化時限数の15%以内でかつ、年間出席時限数が425時限以上であること。 ③学納金に未納がないこと。		1 学年の学期区分	2期
【履修方法】 ①「選択必須科目」は上記表(選択必須科目表)より各学期前に履修を申告する。但し、一度履修した科目は再度履修できない。 ②選択必須科目は、第1学年60時間、第2学年120時間、第3学年180時間を履修する。		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。